

公園用水

外遊びで子どもの力をのばそう

平野ひろみ議員(生ネ) ①ボール遊びができる公園は市内に何か所あるか。

②市民広場で野球やサッカーを禁止している理由はなぜか。

市長 ①現在、試行段階ではあるが、500平方メートル以上で一定のオープンスペースがある公園は、ボールをコントロールできるボール遊びに限り認めており、公園数は、現在12である。

教育長 ②小さな子どもから高齢者までが利用できる広場で、他の利用者にボールが当たる危険性があるため禁止している。

都市整備

宅地開発等における周辺住民とのルールについて

佐藤 充議員(共産) 開発事業者の計画が、周辺住民にもメリットとなるような市独自のルールは出来ないか。

市長 地域の課題は事業地によって異なり、周辺住民がメリットと感じる事項も個々さまざまなので、一律に基準化をして事業者に過度な負担を強いることは難しいと考えている。市はこれまで、現行の条例等に基づきながら、事業者との協議により、道路の拡幅等を行っており、今後も柔軟な対応に努めていく。

一橋大学小平国際キャンパス周辺のまちづくりについて
幸田昌之議員(公明) ①キャンパスの南西の角は見通しが悪く、危険と考えるが市の見解は。②一ツ橋通りをもっと魅力ある通りに整備する考えはあるか。

市長 ①交差点にカーブミラーを設置しているが、設置場所の環境により死角が生じており、さらなる安全対策を検討する。

②具体的な対応方針は決まっていないが、計画的に整備する路線として認識している。整備の際には地域の意見を聞き、魅力ある道路整備を検討していく。

一橋大学小平国際キャンパス南西の交差点

岩本博子議員(生ネ) ①大規模開発に伴う小・中学校の児童生徒数の増加への対応は。②周辺の交通量の変化の見込みとその対策は。

教育長 ①児童・生徒数の動向を見きわめながら、通学区区域の変更や施設の増改築等も視野に入れつつ対応を検討していく。

市長 ②開発区域内の自動車等の生活交通により一定の変化が見込まれることから、既存道路との接続点等で路面表示等の交通安全対策を実施している。

上水本町、上水南町など市の南部地域にしっかりとサポートを

小林洋子議員(フオ) ①上水本町4、5、6丁目に医療機関を誘致する方法はないか。②つつじ公園の雨水対策は。

市長 ①この地域に医療機関がないことは認識しているが、医療機関もさまざまな条件を踏まえ個別に開業していることや近隣地域にもあることから、市で誘致することは難しいと考える。

末廣 進議員(共産) 市の開発条例第17条(周辺住民への周知等)に「事業主は説明会の開催に当たっては周辺住民等と誠実に協議を行い、開発等事業の計画について合意に努めなければならない」という条文を新設、明記してはどうか。

市長 法令にのっとって事業を行う事業主と、現状の住環境の維持を求める周辺住民の間には隔たりが大きく、双方の歩み寄りが難しい事例が多い状況の中で、明記は難しいと考えている。

新小平駅・青梅街道駅周辺地区のまちづくりについて

小野こういち議員(政和) ①小平市都市計画マスタープランで課題に挙がっている青梅街道駅周辺の踏切による交通渋滞の解消等についての検討は。

②新小平駅周辺の新しい町の機能の検討は。

市長 ①都へ踏切拡幅改良等について早期の改善を要望しているが、新たな進展はない。

②現在のところ、駅周辺地区における都市計画道路の整備内容等が定まっておらず、新しい町の機能の検討は行っていない。

花小金井南町、鈴木町の諸課題について

磯山 亮議員(政和) ①鈴木街道へ自転車ナビマークを設置できないか。

②せいぶ通りを一方通行にする場合、どのような課題があるか。また、市の見解は。

市長 ①今後、交通管理者との協議を進め、設置の可能性を検討していく。

②通過車両の速度の上昇や沿道住民の利便性の低下、迂回路の交通量の増加等の課題があることから、現在のところ、一方通行化を検討する予定はない。

一橋学園駅及び鷹の台駅周辺の今後の整備計画について

吉池たかゆき議員(政和) ①鷹の台駅及び一橋学園駅の駅前整備の必要性についての考えは。

②駅前整備を必要とした場合、時期や内容等、現時点の想定は。

市長 ①都市計画上の駅前広場は、いずれの駅も都市計画決定

されたものはないが、鷹の台駅は、都市計画マスタープランで駅前広場の整備を図る必要があるとしている。

②鷹の台駅は、駅前広場予定地の活用を考えているが、現時点で、具体的な想定等はない。

中島町地域の周辺住環境について

細谷 正議員(共産) ①松の木通りの緑道部分の樹木剪定の頻度をふやし、街路灯の明るさを改善できないか。

②中島町第1公園は古く、改善が必要だが検討状況は。

市長 ①今後、必要に応じて剪定するなど、さまざまな角度から緑道部分の照度の改善策について検討していく。

②今後、利用状況を把握しながら必要な改善策を検討する。

小川駅西口地区再開発と3・4号線こぶし通りについて

細谷 正議員(共産) ①小川駅西口地区市街地再開発準備組合の進捗と今後の動きは。

②小平都市計画道路3・4号線こぶし通りのオープンハウスの実施結果は。

市長 ①現在、計画の見直し案を検討しており、見直し案が作成されると再開発準備組合で事業計画案として決定され、その後、都市計画決定に向け権利者の合意形成を進めることになる。

②2日間の開催を通じ約100人が来場し、市の計画がよくわかったとの感想を多くもらった。

小川駅西口再開発と周辺のまちづくりについて

佐野都夫議員(政和) ①小川駅西口再開発事業の進捗状況は。

②市が整備を行う駅前広場の都市計画変更の実現性は。

市長 ①再開発準備組合では建築工事費等の高騰を受け、昨年11月の臨時総会において事業の成立が可能となるよう見直しの方向性が確認され、現在、計画の見直し案を検討している。

②都などの調整からも都市計画変更を進めることは可能と考える。今後も実現に向け、再開発準備組合とともに都などの関係機関との調整を図っていく。

市域全体のまちづくりについて

常松大介議員(フオ) 少子高齢社会に対応した新たなまちづくりのために都市計画マスタープランを改定するとしているが、どのようなことを目指すのか。

市長 誰にでも優しいユニバーサルデザインを視野に取り入れたまちづくりを進めるとともに、高齢者を初めとする市民が生活利便施設等にアクセスできる交通体系の構築など都市全体の構造を考え、にぎわいや地域コミュニティの創出にもつながるようなまちづくりを目指していく。

掲載分以外の質問項目

【産業・暮らし】

○温故知新、芸術のまち小平めぐりにおける効果を問う

【防災・防犯】

○安全で安心して暮らせる小平のまちづくりについて

【教育・文化】

○改正された学校図書館法に基づく学校司書の配置を求めます

○ESD(持続発展教育)とユネスコスクールについて

○市内大学のスポーツクラブと地域の子どもたちの交流は

一般質問のまとめ

平成23年6月定例会～平成27年3月定例会

◆質問者数・件数

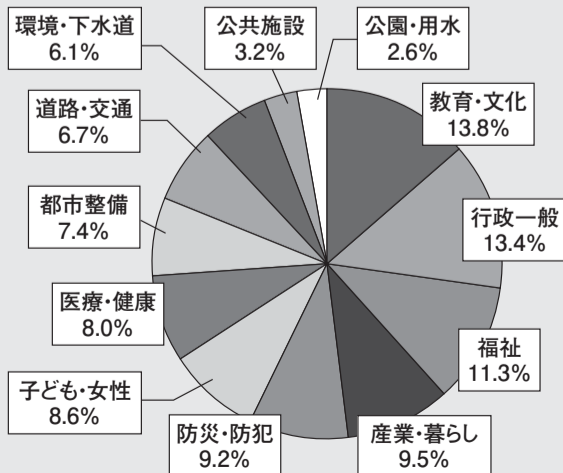
定例会名	質問者数	質問件数
23年6月	25	69
23年9月	24	70
23年12月	25	66
24年3月	26	72
24年6月	26	63
24年9月	25	64
24年12月	25	65
25年3月	26	65
25年6月	25	65
25年9月	24	55
25年12月	24	62
26年3月	24	61
26年6月	24	67
26年9月	25	72
26年12月	24	64
27年3月	24	69
合計	396	1049
平均	24.8人	65.6件

※平均は小数点第2位四捨五入

◆項目別件数

項目	件数
教育・文化	145
行政一般	141
福祉	119
産業・暮らし	100
防災・防犯	97
子ども・女性	90
医療・健康	84
都市整備	78
道路・交通	70
環境・下水道	64
公共施設	34
公園・用水	27
合計	1049件

◆項目別割合



※構成比は四捨五入して表示